

審議会等の会議録			
会 議 の 名 称	平成２６年度 第１回座間市住居表示審議会		
開 催 日 時	平成２６年１１月５日(水) １４時００分～１５時００分		
開 催 場 所	座間市役所 ５－５会議室		
出 席 者	池内委員 上田委員 勝又委員 伊田委員 大塚委員 渡辺委員 大谷委員 江成委員 (欠席) 赤池委員		
事 務 局	遠藤市長 関田部長 山口次長 浅黄課長 溝田技幹兼係長 中根主事 加川主事		
公 開 の 可 否	■公開 □一部公開 □非公開	傍聴人数	なし
非公開・一部公開した理由	_____		
議 題	キャンプ座間返還跡地住居表示（案）について		
資 料 の 名 称	○キャンプ座間返還跡地住居表示（案）について ○参考資料 １．住居表示とは ２．座間市の住居表示実施状況 ３．位置図 ４．キャンプ座間チャペル・ヒル住宅地区返還跡地利用構想図 ５．キャンプ座間返還跡地の概要 ６．住居表示の実施方法 ○法令集		
会議の内容 ※会議次第及び発言要旨等	<p>課長        それでは、定刻となりましたので、ただ今から 座間市 住居表示審議会を開催させていただきます。本日は、各委員様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして有難うございます。会議に先立ち、市長より皆様に委嘱状の交付をさせていただきます。自席にてお受け取りください。はじめにお名前をお呼びしますので、お受け取りください。池内様から名簿の順番にてお願い致します。</p> <p>（委嘱状の交付）</p> <p>課長        ありがとうございます。なお、委員の任期は座間市住居表示審議会規則第３条第２項及び第４条第２項により、諮問に係る審議が終了したときまでとなっておりますので、よろしくお願い致します。それでは、ここで各委員の皆様の自己紹介をお願いいたします。</p> <p>（自己紹介）</p> <p>課長        次に事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>（事務局の紹介）</p> <p>課長        それでは開催に先立ちまして、市長より挨拶をさせていただきます。</p> <p>（市長挨拶）</p> <p>課長        ありがとうございます。それでは、座間市住居表示審議会規則第６条第２項によりまして、本日の委員様の出席状況について報告をさせていただきます。赤池委員様につきましては、欠席との連絡を受けております。出席は、過半数以上の出席をいただき、定足数に達しております。従いまして、本日の審議会は成立</p>		

	<p>いたしますので、ただ今から、座間市住居表示審議会を進行させていただきます。議事の進行につきましては、会長選出までの間、事務局にて進めさせていただきます。始めに、会長・副会長の選出が必要となりますので関田都市部長の進行により選出をお願いいたします。</p>
部長	<p>それでは、会長・副会長の選出でございますが、会則では各委員様の互選となっております。なおこれまでの審議会の中では、会長に市議会議長、副会長には自治会総連合会会長をお願いしている経過があります。</p> <p>(協議の結果、伊田委員を会長、渡辺委員を副会長とする)</p>
部長	<p>それではこれまでどおりという声をいただきましたので、会長に伊田委員様、副会長に渡辺委員様ということになりますようですがよろしいでしょうか。</p> <p>(一同承認)</p>
部長	<p>皆様のご賛同をいただきましたので、会長には伊田委員様、副会長には渡辺委員様に、決定させていただきます。どうもありがとうございました。</p>
課長	<p>それでは、伊田委員様と渡辺委員様におかれましては、それぞれ会長席・副会長席のほうへお移りいただきたいと思います。</p> <p>(席移動)</p>
課長	<p>会長、副会長が選出されましたので、伊田会長からご挨拶をお願いいたします。</p> <p>(会長挨拶)</p>
課長	<p>ありがとうございました。続きまして渡辺副会長にお願いします。</p> <p>(副会長挨拶)</p>
課長	<p>ありがとうございました。それでは次に本日の議案、キャンプ座間返還跡地住居表示(案)につきまして、座間市住居表示審議会規則第2条により、市長から会長へ諮問させていただきます。皆様のお手元には、諮問書の写しをお配りしますのでご覧ください。</p> <p>(会長へ諮問書の提出)</p>
課長	<p>恐れ入りますが、市長は他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。</p> <p>(市長退席)</p>
課長	<p>それではここでお手元にお配りしております資料内容について確認させていただきます。</p> <p>(資料確認)</p>
課長	<p>資料の不足等ございませんでしたでしょうか。これより審議へ移らせていただきますが、本審議会は、協働まちづくり条例第12条の規定に基づき、会議の全部又は一部を公開することとされておりますので、ご了承をお願いします。これからの議事進行は、座間市住居表示審議会規則第6条第1項に基づきまして、議</p>

長を伊田会長にお願いいたします。

議長        それでは、これより議題に入ります。「議題 1    キャンプ座間返還跡地住居表示（案）について」事務局より説明をお願いします。

係長        それでは、キャンプ座間返還跡地住居表示（案）について、説明させていただきますが、その前に、皆様ご存じのこととは存じますが、簡単に住居表示事業の内容と、これまでの座間市の実施経過についてご説明させていただきます。まず、参考資料の 1、「住居表示とは」をご覧ください。

従来、座間市に限らず日本全国各地では、土地につけられた地番を、その上に立つ建物や、そこに住む人の住所として利用しておりました。しかし、地番は本来住所を表すものではなく、明治のはじめ、徴税を目的としてつけられた番号です。そのため、地番を住所として利用した場合、同じ住所の家が何か所もあったり、土地の分筆・合筆によって枝番・欠番が生じ、隣り合う家の住所が全く違うといった複雑な状況になっています。このような状況を改善し、わかりやすく、探しやすくして、みんなが便利で使いやすい住所にしようというのが、住居表示です。

裏面、住居表示のしくみをご覧くださいと、住所を設定する際の手順を記載しております。まず、市境や線路、道路等によって“町”の区域を区切ります。次にそれぞれの町を道路等で“街区”に区切り、街区に順に番号を設定します。更に街区の周りに基礎番号を設定し、街区内の住居について、家の出入り口の位置によって住居番号を決めます。これらによって定められた番号をつなげたものが、住居表示による住所となります。資料の例ですと「〇〇〇一丁目 1 番 1 号」が住所となります。

こちらの方法で住所を表しますと、隣り合う住居には連続した、若しくは近い番号が付くことになり、地域ごとにまとまりのある住所となります。これにより、訪問者の方が探しやすく訪れやすい、特に緊急時の消防車、救急車が現場に速やかに到着できることが期待できます。

次に、参考資料の 2【座間市の住居表示実施状況】をご覧ください。（2）実施経緯のとおり、現在まで座間市では昭和 5 6 年の相模が丘地区に始まり平成 2 5 年の相武台地区まで市内 1 2 の地区におきまして住居表示を実施してまいりました。これにより、平成 2 6 年 4 月 1 日時点におきまして、面積では 8 8 6 h a、面積比で市全域の 5 0．4 0％にて住居表示が実施されております。

それでは今回のキャンプ座間返還跡地についてのご説明に入らせていただきます。

まず、現況について説明させていただきます。参考資料の 3【位置図】をご覧ください。今回のキャンプ座間返還跡地は相武台一丁目の南西、緑ヶ丘六丁目の北西に位置しており、面積は約 5．6 ヘクタール、現在その多くはキャンプ座間の一部であり、法務局の台帳には大字座間または座間入谷と記載されております。当該地区の土地利用構想につきましては、参考資料の 4【キャンプ座間チャペル・

ヒル住宅地区返還跡地利用構想図】にございますとおり、大きく4つの区画に区切られており、病院誘致ゾーン、公園ゾーン、新消防庁舎ゾーン及び陸上自衛隊家族宿舎ゾーンとなっております。現在返還に向けた地区の造成が進んでおり、病院及び自衛隊宿舎につきましては、平成28年春からの利用に向けて計画が進んでおります。公園、新消防庁舎につきましては、返還後の新設に向けて準備が進んでおります。

このような現況の中、今回、返還跡地を住居表示実施地区とし、返還と同時に町名変更を行いますのには、2つの理由がございます。参考資料の5【キャンプ座間返還跡地の概要 3. 住居表示の必要性】をご覧ください。

1つ目の理由は、住居表示そのものの是非についてでございます。今回の返還跡地につきましては、大字名に関する問題があり、返還跡地を大字座間、座間入谷のままとしますと、住まわれる方の住所に混乱が生じるためです。先程述べましたとおり、今回の返還跡地の大字は座間または座間入谷となっておりますが、現在、他に大字座間、座間入谷として残っている場所が市内にあり、これらは座間1丁目西側の水田地帯及び河川敷に位置しております。このような状況の中、今回の返還跡地をそのまま大字座間、座間入谷としますと飛び地が生じ、当該住所地を探す際に混乱を生じますため、返還地を住居表示実施地区とし、町名変更を行うものです。

2つ目の理由は実施時期についてです。今回の返還跡地につきましては、返還後間もなく自衛隊宿舎及び病院の利用が予定されております。そのため、返還から住居表示実施までに期間が空きますと、病院をご利用の方や、自衛隊家族宿舎にお住まいの方に前述の混乱を招きます他に、一度座間または座間入谷で住所登録をした後で、再度の住所変更が必要となり、手間と費用が地区内の法人・個人にかかることとなります。市としましてもお住まいの方への手続き説明及びその資料作成といった業務が増えることとなり、業務量と費用が増大することとなります。これらを防ぎ、費用の削減、業務の効率化を図るために、今回の審議会の開催、続きまして今年度中の議会への議案提出を行い、返還から間をおかずに住居表示を実施したいと考え、事務を進めてまいりました。

以上の2つの理由から事務を進めてまいりました結果、作成いたしましたのが、今回ご審議いただく「キャンプ座間返還跡地住居表示（案）」です。

前置きが長くなりましたが、本題である案の内容について説明させていただきます。【座間市住居表示審議会議題第1号、平成26年度キャンプ座間返還跡地住居表示（案）について】をご覧ください。

住居表示の実施区域につきましては、返還跡地全域としております。

住居表示の実施方法につきましては、街区方式にて実施としております。

住居表示実施に伴う町割り・町名変更につきましては、相武台一丁目への編入としております。

各提案内容についてご説明させていただきます。

まず、実施区域につきましては、先ほど述べました住居表示実施及び町名変更の必要性から、返還跡地全域としております。

次に、実施区域内の住居表示の方法については、街区方式と提案させていただきました根拠をお話いたします。参考資料の6【住居表示の実施方法】をご覧ください。

住居表示の実施方法についてですが1に記載されておりますとおり、“街区方式”と“道路方式”の2つがございます。街区方式は、先ほど【住居表示とは】にて説明させていただいたように、街区を区切って番号を付け、その中の住居に番号を付けていくという方法です。日本では道路事情や、町名と番地から住所を表すという慣習に近く、わかりやすいことから、ほぼ全ての地域で街区方式が採用されており、座間市でもこれまで街区方式にて実施してきております。道路方式は主に欧米にて採用されている方式で、道路を基準とし、その沿道の住宅に順番に番号を振っていくという方式です。キャンプ座間返還跡地におきましても、他の地域との整合性や、分かりやすさから街区方式にて実施したいと考えております。

最後に町割りと町名変更について説明させていただきます。

町割りににつきましては、返還跡地は約5.6ヘクタールと狭い区域であり、その土地利用も概ね4つのゾーンと分割が少ないため、返還跡地を分割する必要はございません。そのため、町割りとしては返還跡地全域を隣接地へ編入としております。

次に町名変更についてですが、変更する町名の候補につきましては、その隣接する地域から「相武台」又は「緑ヶ丘」が候補となります。このうち今回の案では、「相武台」とさせていただいておりますが、理由をご説明いたします。

まず、「緑ヶ丘」につきましては、緑ヶ丘との隣接部分が県道となっており、非常に広い道路で区切られています。住居表示における町区域設定の基本的な考え方としまして、主要な道路や線路、水路等では区切るという考えがございます。この県道は主要な道路にあたりますので、緑ヶ丘とは区域を別にすると考え、今回の町名案から外しております。なお、現在の市民体育館・大阪台公園がある土地が返還された際の町名変更におきましても、「県道で仕切られていることから、「緑ヶ丘」に編入することは無理がある。」としております。

対して相武台ですが、今回の返還地は相武台一丁目との境界部分に道路等はなく、地続きになっています。住居表示における町区域の区切り方からいえば、同一の町名とするのが自然な考え方です。また、相武台という地名の由来を考えますと、こちらの名前は、昭和12年に、現在のキャンプ座間付近にありました陸軍士官学校に対して、昭和天皇が行幸された際に命名されたものです。今回の返還地はもともとキャンプ座間の一部であった土地ですので、歴史的な経緯を踏まえましても、相武台に編入するのが自然と思われます。

このような理由から、今回のキャンプ座間返還跡地につきましては、相武台1丁目への編入として町名変更を行い、また、相武台1丁目が住居表示実施地区で

ありますことから、住居表示の実施を行いたいと考えております。  
以上です。

議長 　ただ今、事務局から説明がありましたので、これより質疑に入ります。  
質疑をお願いいたします。

（質疑無し）

議長 　特にございませんでしょうか。

他に質疑がなければ以上で質疑を終結し、採決したいと思います。内容は3件ありますが、互いに関連する内容ですので、一括で採決させていただきます。それでは、議題1　キャンプ座間返還跡地住居表示（案）について、賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

議長 　挙手全員（挙手多数）でございます。よって、キャンプ座間返還跡地住居表示（案）につきましては、原案のとおり可決いたしました。続きまして、答申の方法につきまして、ご意見をお願いします。いかがでしょうか。

（会長に一任）。

議長 　ただ今会長に一任というご意見がございましたが、これについてご異議ございませんか。

（異議なし）

議長 　異議無しと認めます。よって市長への答申につきましては、副会長と相談の上行わせていただきます。相談のため、ここで15分程度休憩致します。

（休憩）

議長 　休憩を解きまして再開いたします。先ほど可決いたしました、キャンプ座間返還跡地住居表示（案）につきましては、皆様に答申書の写しをお配りしましたとおり、後ほど市長に対し、副会長とともに答申をさせていただきます。本日の審議事項は終了いたしました。これからの進行は事務局にお返しします。

課長 　ありがとうございました。その他といたしまして、事務局より今後の予定について簡単に説明させていただきます。

この後、会長、副会長より、本日の審議事項についての答申を市長にいただきます。

これを受けまして、町名変更及び住居表示の実施についての議案を作成し、住居表示に関する法律第5条の2に基づき、11月から12月にかけて1か月間、町名変更の議案につきまして、案の公示を行います。

この案の公示を経て、平成27年第1回座間市議会に、町名変更及び住居表示実施の議案を提出させていただきます。

ここまでの平成26年度中の流れになります。

平成27年度につきましては、返還時期の確定に伴う流れとなります。予め現

地調査や土地地番調査を行っておき、返還時期が確定次第、町名変更及び住居表示実施の告示を行います。その後、返還と同時期に町名変更及び住居表示の実施を行い、キャンプ座間返還跡地の住居表示事業が完了となります。

以上が今後の事務の流れです。

これで本日の予定はすべて終了いたしました。

これにて平成26年度第1回座間市住居表示審議会を閉会いたします。

委員の皆様の任期につきましては座間市住居表示審議会規則第3条第2項及び第4条第2項により、諮問に係る審議が終了したときまでとなっておりますので、本審議会の閉会をもちまして任期満了となります。

皆様ありがとうございました。